

society&business Tokyo25 journal 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

人生、花ありてこそ ~プレミアム・カレッジでの2年間~



華道師範 海原春美さん 青梅市友田町

青梅市友田町在住、長洲市民センターなどで華道師範としてフラワーアレンジメントも教える海原春美さん(69)は2度、バットで殴られた気分が度々「ヘルプ!」と叫んだ。最初は東芝やカシオの技術者だった夫の60歳定年後、「自家用車

と診断されてからさらなる苦難が続きました。海原さんはフラワーアレンジメントの仕事で縮小した夫の病院に足繁く通った。夫は12年間闘病、2年半前に不帰の人とな

と語る。1次小論文、2次面接で3倍の競争率を突破した。一昨年4月に2期生44人が本科に入学。コロナ禍によるオンラインの講義を嫌がり9人が辞退。「私はオンラインなら交通費が浮くからラッキーと思っ



「花と植物の癒し効果」で成果発表会に臨む海原さん



ワーレンジメントでは気分が落ちつき、園芸では植物の生長変化が認知症高齢者に有効と認められた。花の効果大

夫の死後間もなくして東京都立大学プレミアム・カレッジ(PC)の学生募集広告「南大沢キャンパスでは始める、50

の息子の手を借り何とか使えるようになる」毎週レポート提出を求める授業もある。海原さんはパソコンのトラブルで再度「ヘルプ

2年目の専攻科には34人が進む。講義が対面とオンラインのハイブリッド型になると、海原さんは迷わず対面を選択。講義の前後の10分間に学生と積極的

使命感とイノベーション

人が住み、働くための空間や環境づくりが建設産業の役割だ。あきる野市に本社を置く五光建設。創業者である中原誠一郎氏が1968年に設立した。以来半世紀、その社会的使命を果たしてきたと長女で現社長の中原聡美さんは話す。

五光建設 中原聡美さん



大役を務めた。父親の助言も受けながら、組織運営や人材育成を学べたと振り返る。「父がいつも口にして

いたのが「イノベーション」つまり革新。それが業容の拡大という意欲的な戦略につながり、マンシヨンの分譲を行うデベロッパーにも進出した。現在の主力事業は不動産



あきる野市秋川1-1-13共和ビル3階 秋川駅徒歩1分



先代の仕事と教え

「いまもそうだが、行動力が父の身上。思い立ったことを一気に達成に進め、やり切るタイプ。半

面、慎重さも兼ね備え、バブル経済の際、多くの経営者が土地や株の投資に走るなか、それに惑わされず手堅い経営を貫いた」

聡美さんは大学を卒業後、2年ほど他社に勤務。五光建設に戻る。父が娘に託した経営資産にはかならない。聡美さんはいま、会社を全社員の力を合わせて守り抜きた

【岡村繁雄】

どこにいても直らなかった方へ(3密対策を徹底)
秋川駅北口 41年の実績
太田ハリ灸治療院
042(550)5591 完全予約診療(当日予約も可) 土日も診療
初診料 3,000円 治療費 3,500円 (学生2,500円)
この広告で来院した方は初診料無料
坐骨神経痛、ヘルニア(腰、頸椎)、脊椎管狭く、五十肩、ひざ関節症、肩こり、エルボ(テニス・ゴルフ)、湿疹、スポーツ障害など
坐骨神経痛はお尻から足にかけて痛み、シビレで歩くことが困難な方
●あきる野とうきゅう ●ココ ●西武信金
五日市街道 秋川駅
あきる野市秋川1-1-13共和ビル3階 秋川駅徒歩1分
「私が元気に大会に出場できるのは痛めた腰・肩の治療を受け、体のケアをしているからです」